

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 6,7限他	教室名	401他
担 当 教 員	藤本光輝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
前言語期から学童期までの言語発達について理解できる。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験で100%評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義では主に配付資料を使用する 参考図書:医学書院『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 医歯薬出版『言語聴覚士テキスト第3版』						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
言語機能を評価するためには言語がどのような発達過程を経るのか把握しておくことが求められます。着実に理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語獲得理論(学習説、生得説)について説明できる	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	言語獲得理論(学習説、生得説)について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語獲得理論(認知説、社会相互交渉説)について説明できる	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	言語獲得理論(認知説、社会相互交渉説)について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	前言語期の言語発達(コミュニケーション行動の発達)について説明できる	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	前言語期の言語発達(コミュニケーション行動の発達)について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	前言語期の言語発達(発声行動・言語音知覚の発達)について説明できる	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	前言語期の言語発達(発声行動・言語音知覚の発達)について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1～2歳(語彙獲得期)の言語発達について説明できる①	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	初語の出現・語彙の増加、言語発達を促す大人の関わりについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1～2歳(語彙獲得期)の言語発達について説明できる②	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読
		各コマにおける授業予定	構文の発達、象徴機能の発達について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期の言語発達について説明できる	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読
		各コマにおける授業予定	幼児期の言語発達について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	学童期の言語発達について説明できる	配布資料 PCスライド	参考図書の該当頁通読
		各コマにおける授業予定	学童期の言語発達について学ぶ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			